

Rugby football

愛知淑徳大学 ラグビー部

今回は愛知淑徳大学ラグビー部をご紹介します。
ラグビーの盛んな国、オーストラリアから来たコーチのノリス先生と、オーストラリアでもラグビー選手として活躍してきた留学生のアダムさんに、ラグビーに対する思いや将来の夢などを聞いてみました。



愛知淑徳大学ラグビー部のメンバーと、クラブのエンブレム



ラグビーを通して日豪交流の推進役を果たす



ハリー・ノリス コーチ

出場、4部リーグで優勝して3部リーグに、99年には3部リーグで優勝して2部リーグにと、とんとん拍子にリーグ昇格を果たしてきました。
この2年間は、2部リーグで3位と好成績を収め、今年は1部リーグを目指しています。
「学生たちが実力をつけるにはどのレベルであつても多くのチャンスが与えられることが必要です。日本には

オーストラリアでは隣国土の距離が何十キロも離れている地域があり、日々の学校の授業はラジオなどで行い、登校する日がめつたにない小学校も珍しくありません。そういう学校も訪問し、小学生たちとも交流します。また、羊の毛を刈る体験などラグビー以外にもオーストラリアならではのさまざまな生活に触れます。私自身、学生時代に海外でホームステイなどをしながらラグビーの技術を向上させるためのいろいろな体験をさせてもらったので、それをうちの学生たちにもさせてやりたいのです。すべては人と人との交流が基本ですから、大変だけれど嬉しいですよ」と、オーストラリア遠征合宿を前に、全身に情熱が溢れている様子でした。

ハリー・ノリス先生は、現代社会学部を開設し、男女共学になった1995年に本学へ赴任しました。以来、外国語教育センターに所属して学部の英語関係の科目を担当しています。共学に変わったことで、クラブや同好会などの学生の課外活動にも変化が現れました。1996年にはラグビー同好会が発足し、オーストラリアの大学やクラブチームで活躍したこのあるノリス先生が、早速学生たちのコーチにあたりました。翌97年にはメンバーも13人から26人へうち、マネージャー11人となりました。98年には同好会からクラブとなり、東海リーグ戦に

まだそうしたシステムがありませんが、少しでも本場のラグビーに触れてほしいので、98年に続き2回目のオーストラリアでの合宿を企画しています。実はあすから出発するんですよ。
約1か月の日程で、日本を周するくらいの距離を移動します。学校やいろいろなクラブチームで同年代の人たちとの練習試合をしたり、南半球最大の有名なスーパーエス（12）というラグビーの試合も2回観戦します。また、本学と交流協定を結んでいるセントラルクィーンズランド大学で日本語を勉強している学生の家庭でのホームパーティも計画されています。

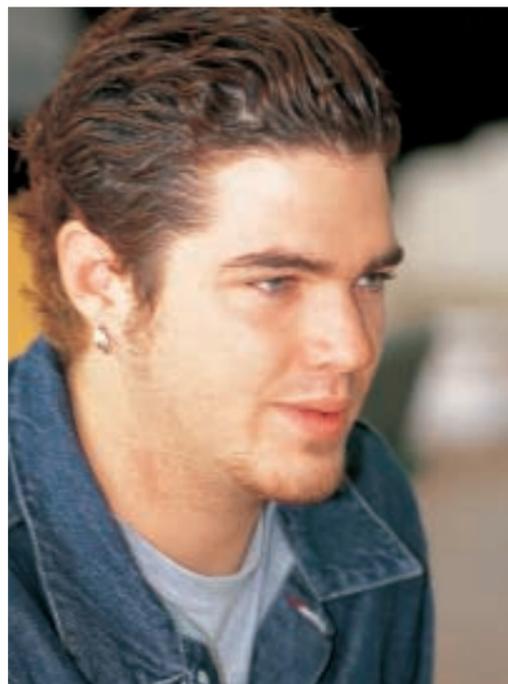
先生は東海地区における高校のラグビーコーチの指導も引き受け、オーストラリアでも指導活動をしています。日本に住んで10年、すっかり日本にも慣れ、ラグビーを通して日豪交流の推進役になっているようです。
研究室には同好会としての発足当時から部員の集合写真が額に収められ、壁を埋めています。その傍らには夫人と愛娘の写真もありました。

アダムさんは海外提携校のオーストラリア・セントラルクィーンズランド大学で日本語と教育を学んでいました。今年1月から愛知淑徳大学の留学生別科へ交換留学生として1年間来日。国際交流会館（アイハ

ウス）で寮生活を送りながら、世界各国の留学生とともに日本語の勉強に取り組んでいます。
子どもの頃、テレビで、鉄腕アトムを見て日本に愛がられるようになり、家族から「アトムのマクネームで呼

ばれていた」というアダムさん。オーストラリアの教育制度は小学校が7年、12歳からは高校で5年間学びますが、高校の語学の選択科目では迷わず日本語を選びました。
「もともと日本が好きだったから、日

卒業後は日本に住んでタレントになりたい



留学生別科生
アダム・ロハン・グリーンさん

本語は得意科目でした。お父さんお母さんから、そんなに日本が好きなら行ってみたら？ と言われて、15歳のとき日本に1ヶ月、来ました。
短期留学や観光を交え、今回の留学は7回目の来日となります。愛知淑徳大学を選んだのは、大学の先生にすすめられて、奨学金を得るため2年間必死で勉強し、3年次を本学で過ごすことになりました。
「愛知淑徳大学は最高！ 最初から愛知淑徳大学で勉強すればよかった。勉強は大変だけれど、先生方はみんなやさしいよ。」

留学生別科には日本語のレベルに応じて「ジャパニーズ1」から「J6」までのクラスがあります。
「J6は日本語がペラペラ。ぼくはJ5だけれど、早くJ6にいきたい。日本語は特に漢字が面白い。でも書き順がだめなので、昨日も夜中の3時まで勉強していました」
そして将来の夢について、「卒業後は日本の国籍を取って日本に住みたい。テレビ局に就職するか、セイン・カミのようなタレントになりたい」と話してくれました。

「もともとアダムさんが生まれ育った町は、海辺で豊かな自然に恵まれた場所。オーストラリアではライフ・セービングとラグビー、クリケットが国民的スポーツということで、アダムさんも5歳ぐらいからライフ・セービングとラグビーを楽しんできました。愛知淑徳大学でもラグビー部に入り、ノリス先生の指導を受けますが、今回のオーストラリア合宿は勉強に専念するため、残念ながら見送り。
「勉強とスポーツの両立は大変だけれど、一生懸命に頑張らないとレベルアップできない。だから頑張ります」
オーストラリアの大自然に育まれた、自立心旺盛で何事にも前向きな姿勢のアダムさんです。

クラブ の活躍

大学

社交ダンス部	第33回学年別戦 団体総合第2位 3年生の部第2位 黒宮淑未 1月27日(日) 名古屋大学
ボランティア サークルDo!	学内献血 献血者31名 12月13日(木) 本学図書館前
アンサンブル・ シュネッケ	瀬戸市立図書館クリスマス・コンサート 観客40名前後 12月23日(日) 瀬戸市立図書館 子どもクリスマス・コンサート2001 親子合わせて約300名の前で演奏 12月21日(金) 長久手文化の家森ホール

高校

ソフトテニス部	東海高校選抜ソフトテニス浜松大会第3位 2年 浅井菜津美、平川亜子組 2月11日
ギターマンドリン部	全日本高校ギターマンドリン音楽振興会 東海支部大会優秀賞 全国大会(夏、大阪で開催)への出場権を獲得 2月11日
スキー部	名古屋市民スポーツ祭 優勝 1年 加藤幹菜 準優勝 1年 坂井愛理 2月17日 朴ノ木平スキー場
その他	第47回青少年読書感想文愛知県コンクール 3類の部 愛知県図書館研究会賞 3年 都築美好 優良賞 1年 奥田彩子 3月 愛知県私学読書感想文コンクール 優良賞 1年 湯山小百合 3月

中学

中学バトン部	第29回マーチングバンド・パントフリングコンテスト 全国大会パントフリング部門中学生の部金賞 1月 全日本パントフリング選手権東海大会1位 3年 黒柳美知子、近藤まほ 2月
ギターマンドリン部	第19回東海選抜ギターマンドリンフェスティバル優秀賞 2月
その他	第47回青少年読書感想文コンクール愛知県大会 優良賞 2年 小久保敦子 1月 平成13年度愛知県私学読書感想文コンクール 優秀賞 3年 榎山珠里 優良賞 1年 高橋夕波 2月